

北アルプス 蝶ヶ岳

福永

【日時】 2011年1月2日（日）～4日（火）

【メンバー】 L飯田 北沢 福永

「ワカンじゃなくてスノーシューね。なんてたって上高地だよ」というリーダーのもと 2011 年元旦、槍穂眺望の旅にでました。

夏は賑やかな上高地もただ真っ白な世界で静寂を保っていました。



1月2日（日）晴れ

予約のタクシーに乗り沢渡から釜トンネルへ。トンネルを歩くのは綺麗になっ

てから初めてで、大正池、帝国ホテル、河童橋、明神と順調に徳沢に到着。お正月営業をしている徳沢園の看板犬のハナちゃんにも挨拶をし、ここからスノーシューを装着。トレースばっちりなのに他のパーティーはなんでスノーシューを履いているのだろうと不思議に思っていました。2キロ軽くなるとかなり楽ですね。スノーシューは履くに限ります。雲が多かった明け方に比べ天気はどんどん回復し、すっかり青空が広がっています。左手に前穂北尾根をみながら横尾に到着。冬季だけ開いている避難小屋の前には、水が豊富に出ていました。小屋は我々以外お一人だけ。飯田さんが持ってきてくれた1リットルの絞りたての『谷川岳』が喉を潤し、高菜ラー油パスタ&クリームシチューで満たされました。ただ壁が一部オープンのため夜中、全て凍りついたのはいうまでもありません。

1月3日（月）晴れ

前穂のモルゲンロートの撮影から朝ははじまりました。この天気なら稜線にできれば槍穂の眺望は間違いなかろうと、ワクワク準備をしていたら事件は起こりました。飯田さんの悲痛な声が聞こえます。残しておいた『谷川岳』がザックの中で溢れてしまっていたのです。飯田さんの上着は日本酒の素敵な香りつきになりました。

スノーシューでひたすら高度をあげ、





樹林の隙間から槍が見えた時はなんて嬉しかったことか。稜線上は微風。穏やかなお正月です。蝶ヶ岳の避難小屋に到着してから山頂を踏みにいきましたが、槍穂は雲に隠れてしまい、飯田さんのガス男パワーは2011年も健在でありました。小屋は写真を撮るために年末から滞在している登山者で賑やかでした。土間の一角を貸して貰い無事に宴会の始まりです。今日のシェフは北沢さん。佐貫さんに教わったという乾燥野菜たっぷりのお雑煮はとても美味しかったです。

1月4日(火) 晴れ

明け方、うっすらとしたガスの中、寒々とした穂高連峰が見えました。槍は雲に隠れ、結局、顔を出してくれたのは昨日の登りの時だけでした。今日は長堀尾根を下ります。太陽が高くなると奥穂、前穂が木々の隙間からチラチラ見えます。一面の銀世界に澄みわたる青空、樹林の中を歩いているとメルヘン的でまるで北八ヶ岳のようです。斜度が強くなるとトレースを外し、思い切ってショートカット。パフパフの雪を満喫しました。スノーシューは楽しい！そんなこんなで徳沢に着いてひと安心。明神辺りから雪が舞うようになり、河童橋で後ろを振り返っても穂高はガスの中。私達がいた3日間が一番青空に恵まれていたようです。優しいリーダーと賑やか女子達は厳冬の北アルプスの女神様に微笑んで貰えたのでした。

【行程】

- 1/2 釜トンネル入口 (07:25) ~ 上高地 (09:10~09:30) ~ 横尾避難小屋 (12:50)
- 1/3 横尾避難小屋 (07:40) ~ 三俣 (12:35) ~ 蝶ヶ岳避難小屋 (13:05)
- 1/4 蝶ヶ岳避難小屋 (07:15) ~ 徳沢 (10:20) ~ 釜トンネル入口 (14:20)



【地形図】 穂高岳・上高地・焼岳・笠ヶ岳